

広島県における少子化の現状と 若者の結婚に関する意識



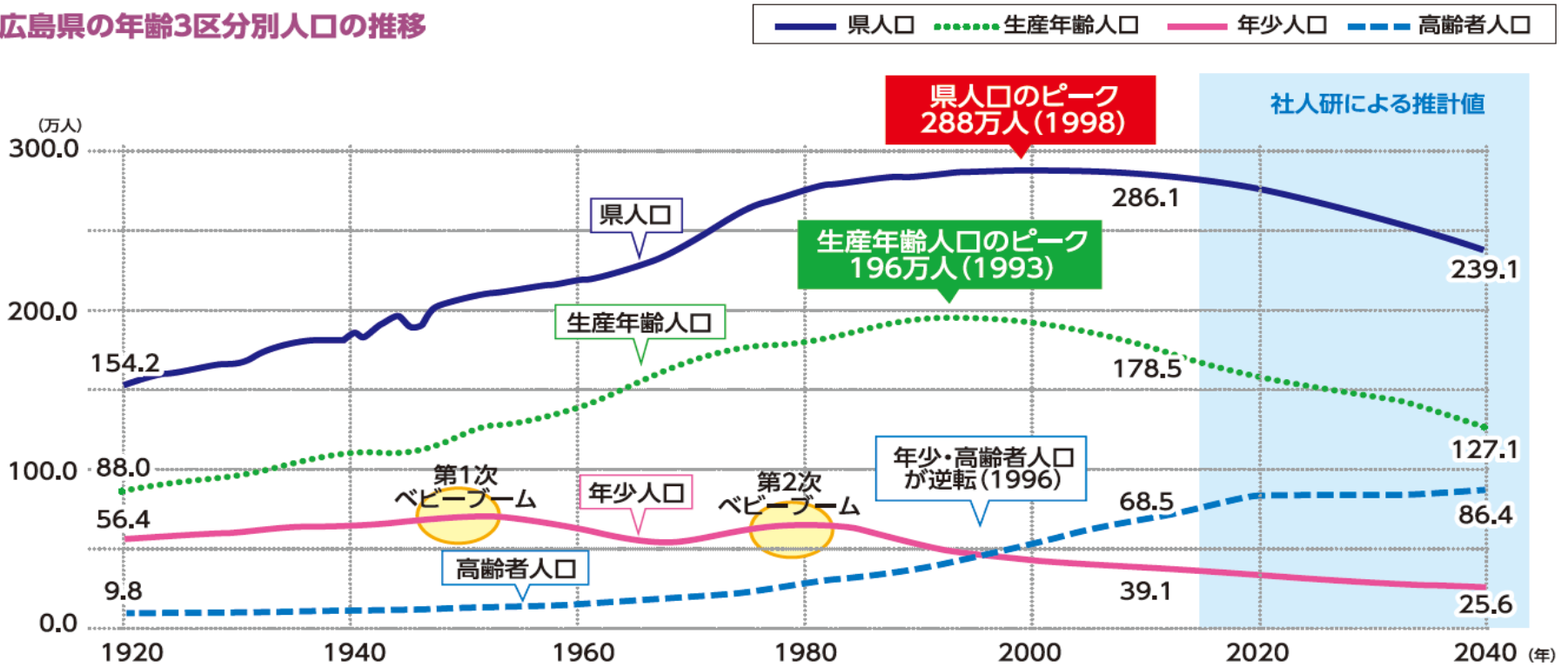
健康福祉局子育て・少子化対策課

広島県の人口の推移

2010年から2040年にかけて
 総人口は47万人，生産年齢人口は51万人減少

市場の縮小や働き手の減少が想定されるなど，社会全体での対策が急務

広島県の年齢3区分別人口の推移

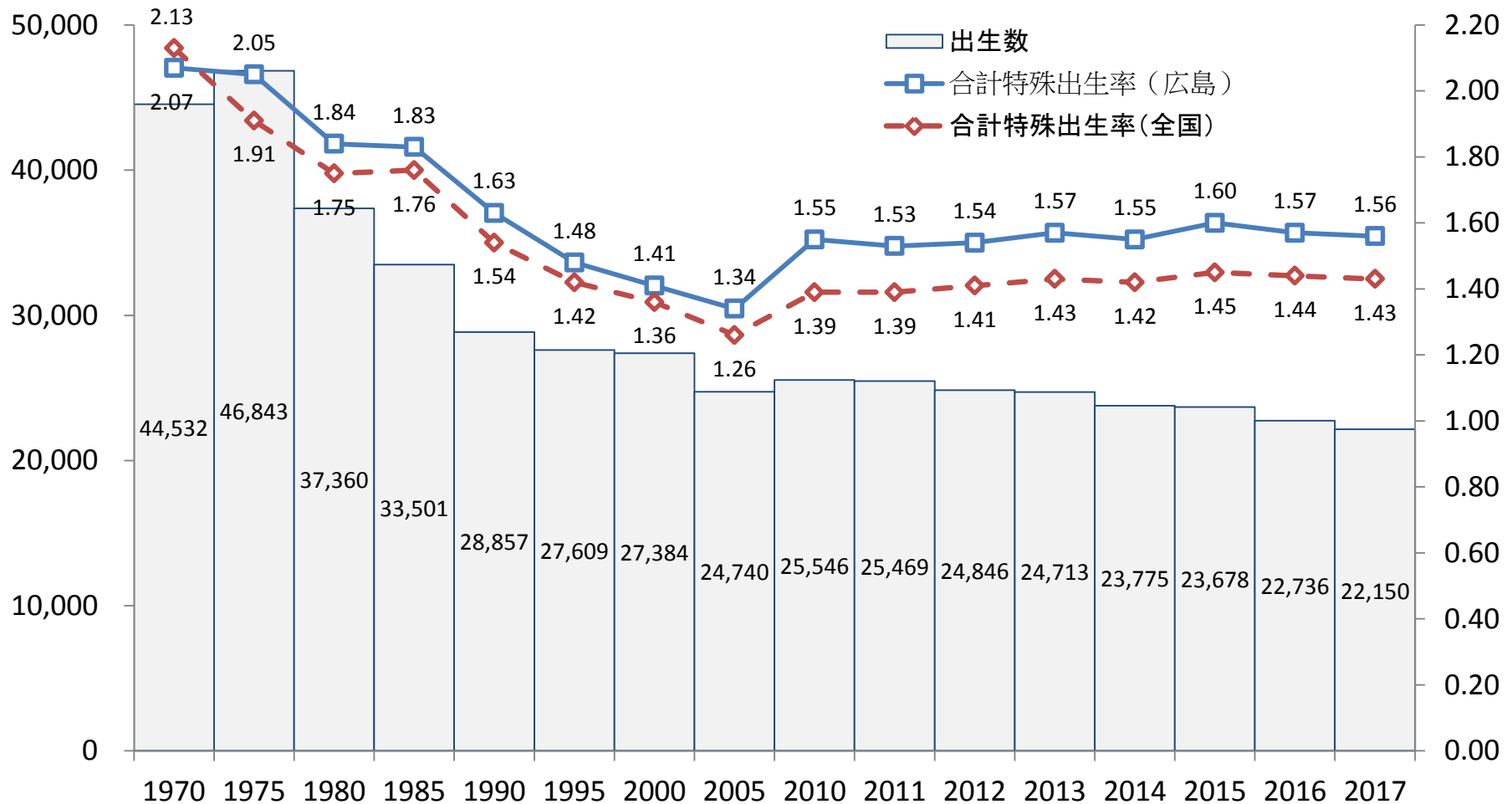


働き手の減少

区分	2010(H22)	2040(H52)
年少人口(0~14歳)	13.7%	10.7% ▲14万人
生産年齢人口(15~64歳)	62.4%	53.2% ▲51万人
高齢者人口(65歳以上)	23.9%	36.1% +18万人

年少人口の減少 ～少子化～

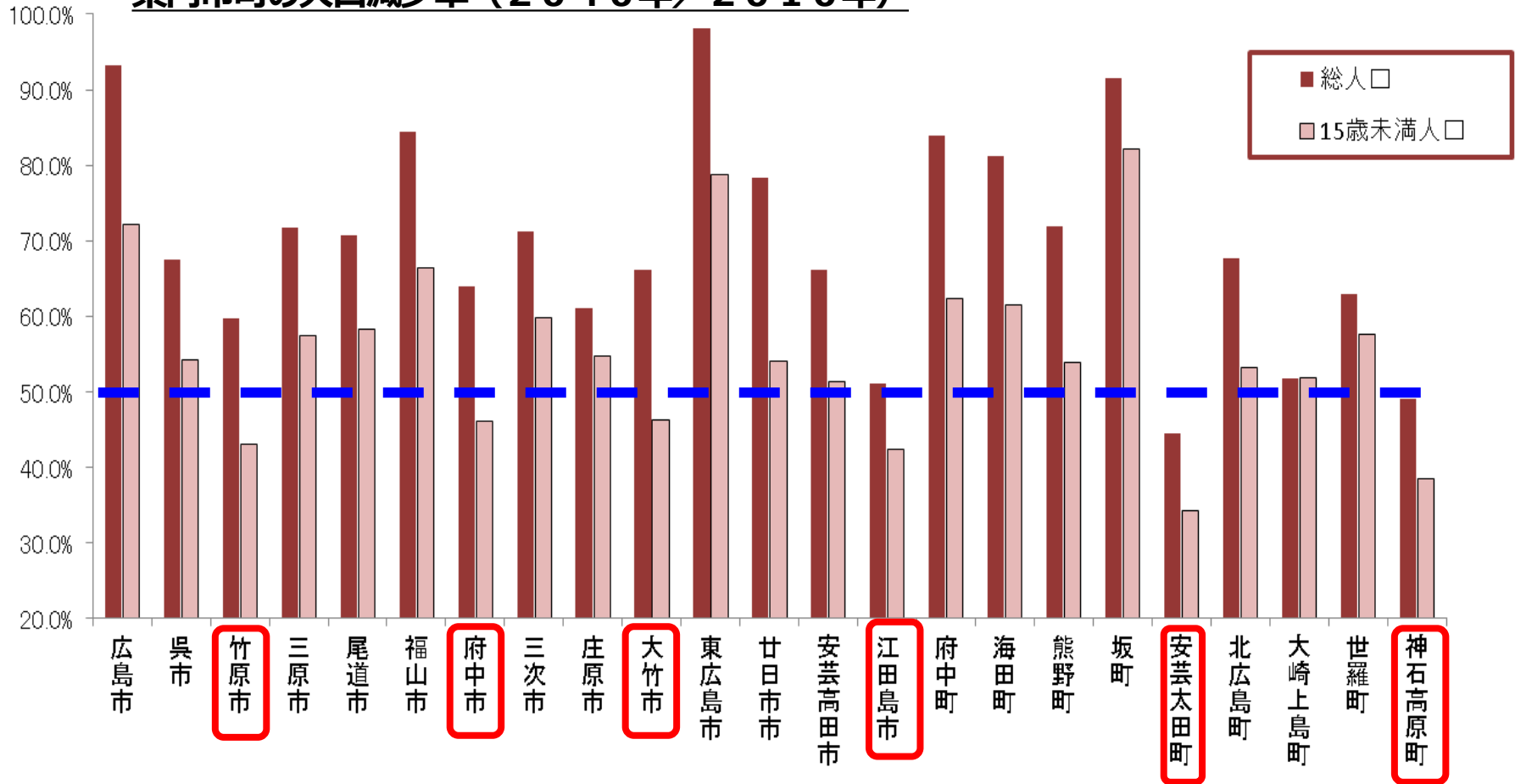
合計特殊出生率は2005年以降回復しているものの、
出生数は40年前をピークに半減し、減少傾向



広島県の将来人口

- 各市町の30年後の人口は、現在と比べて、東広島市、広島市がほとんど変わらないのに対して、安芸太田町、神石高原町で現在の半分の人口となる。
- 15歳未満人口は、6市町で現在の半分以下という厳しい見込み

県内市町の人口減少率（2040年／2010年）

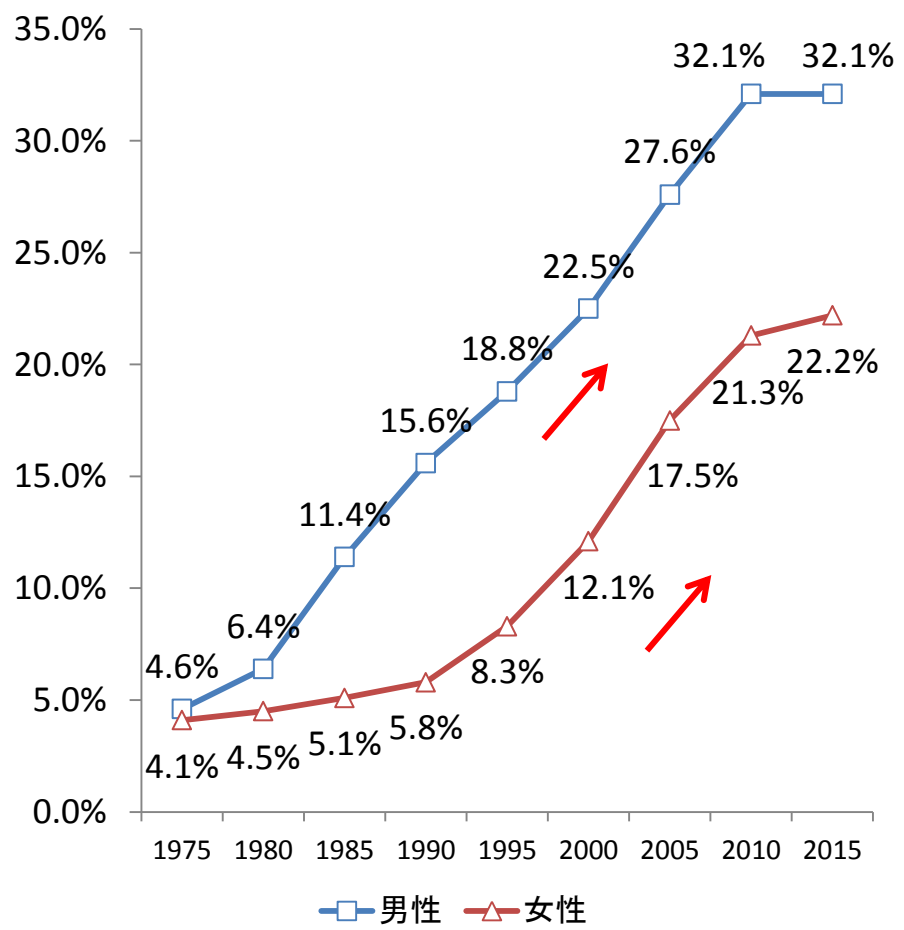


未婚化・晩婚化の状況



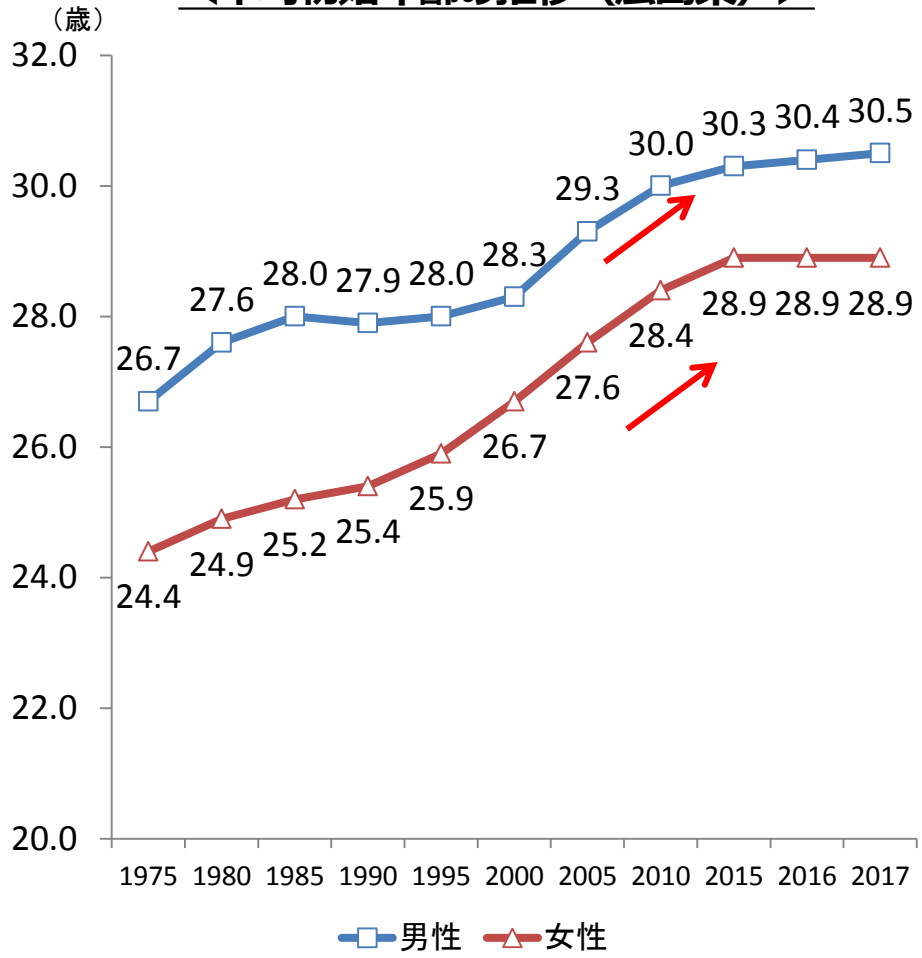
最新のデータでは、35歳から39歳の男性の3人に1人、女性の4人に1人が未婚
初婚年齢も上昇傾向にあり、晩婚化が進んでいる

<男女（35～39歳）の未婚率（広島県）>



国勢調査(総務省)

<平均初婚年齢の推移（広島県）>

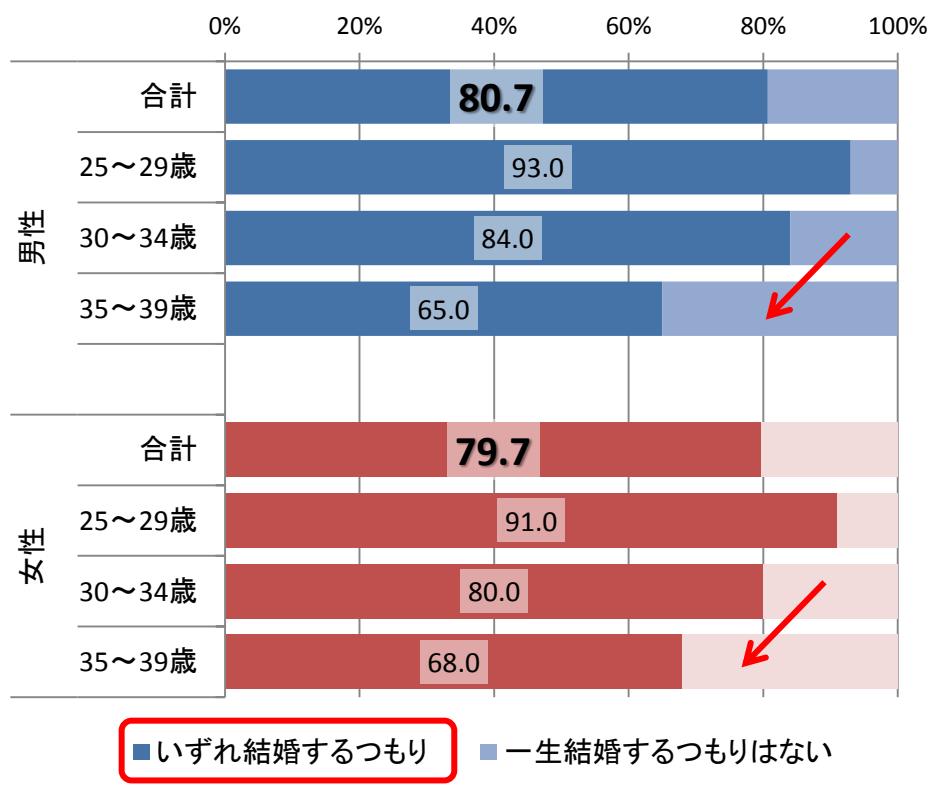


人口動態調査(厚生労働省)

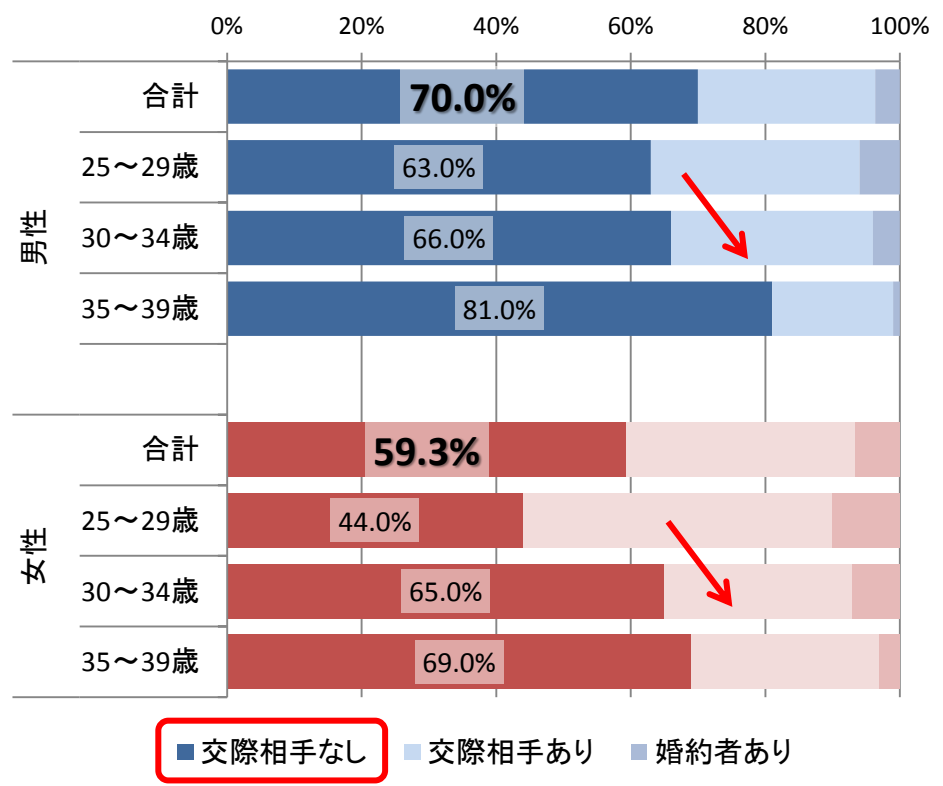
独身男女へのアンケート結果<結婚願望, 交際状況>

県では, 半年に1度, 独身男女を対象にアンケート調査を実施
 ⇒ 独身男女の**約8割**が結婚したい一方で
 独身男性の**約7割**, 女性の**約6割**に恋人がいない

<独身男女 (25歳~39歳) の結婚願望>



<独身男女 (25歳~39歳) の交際状況>

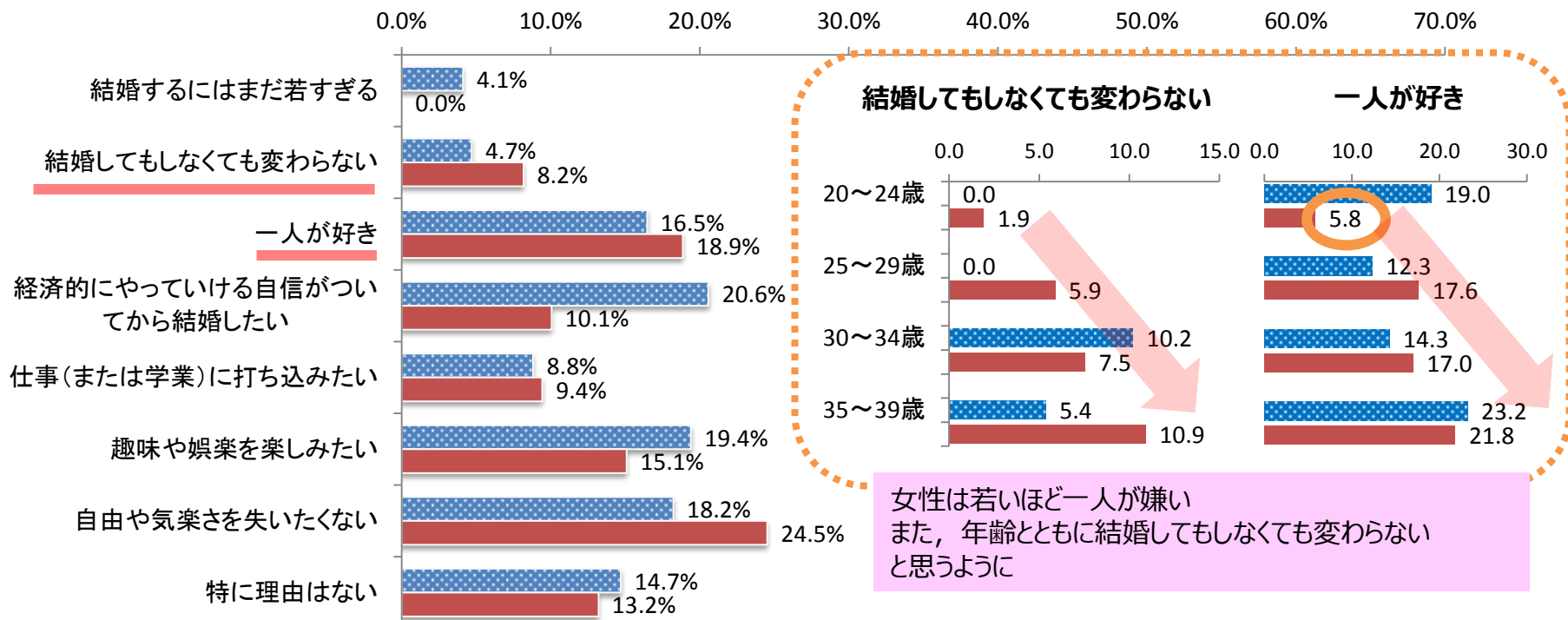


独身男女へのアンケート結果<独身にとどまる理由>



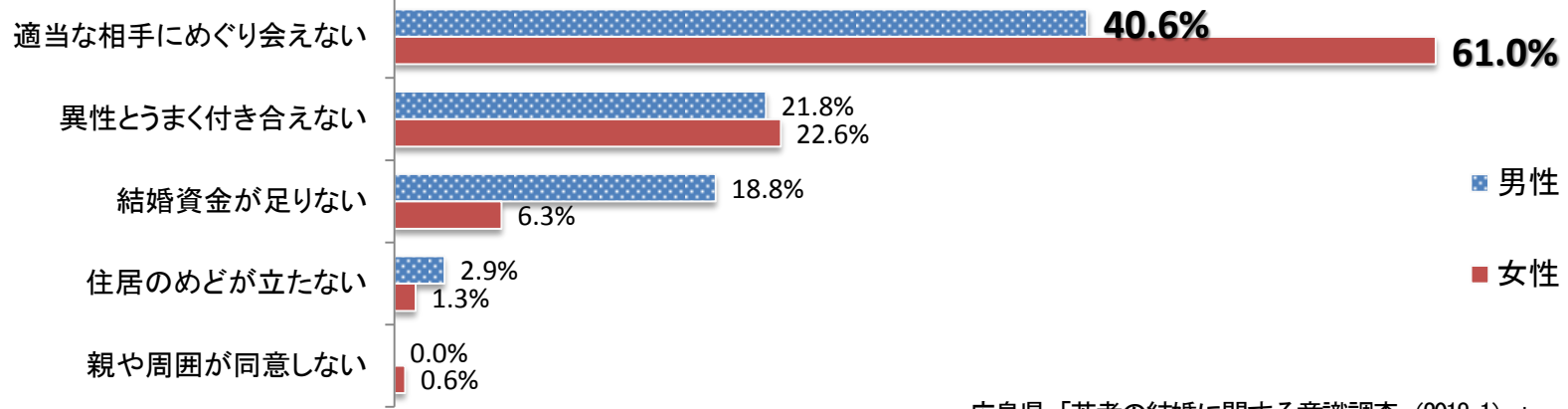
⇒「出会いがない」が最多，しかしながら近年は理由が多様化

結婚しない理由



女性は若いほど一人が嫌い
また、年齢とともに結婚してもなくても変わらないと思うように

結婚できない理由



独身男女へのアンケート結果<まとめ>

結婚願望と交際状況を踏まえたセグメント分けを行った上で、
 事業ターゲットはⅢ（結婚願望があり、かつ交際相手がいない層）に設定
 ※人数は平成27年国勢調査からの推計人数

<25~39歳 男性>

<25~39歳 女性>

婚約中3.6%

婚約中6.7%

交際あり

交際あり

I

結婚願望あり
交際あり
26.3%
~29,000人

II

結婚願望なし
交際あり
0.0%
~0人

I

結婚願望あり
交際あり
29.7%
~24,000人

II

結婚願望なし
交際なし
4.3%
~3,000人

結婚願望あり

結婚願望なし

結婚願望あり

結婚願望なし

III

結婚願望あり
交際なし
51.0%
~56,000人

IV

結婚願望なし
交際なし
19.0%
~21,000人

III

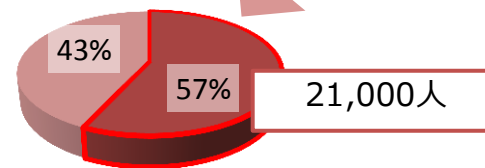
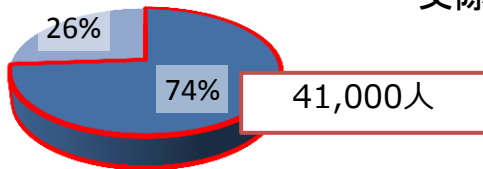
結婚願望あり
交際なし
43.3%
~36,000人

IV

結婚願望なし
交際なし
16.0%
~13,000人

交際なし

交際なし



■特に活動をしていない

■特に活動をしていない

出典: 若者の結婚に関する意識調査<2018.12>(広島県)
 国勢調査(総務省)